

市議会だより



きたあきた



No. 37

平成25年11月1日発行

9月定例会

- 本定例会の審議・臨時会…………… 2～3
- 常任委員会の審査報告…………… 4～5
- 一般質問…………… 6～11
- 所管事務調査報告…………… 12
- 市議会ってどんなところ?…………… 13
- 請願陳情・人事案件…………… 14

学習成果を発表
歌声で輝く思い出づくり
～市立鷹巣小学校 鷹っ子祭り～

鷹巣駅前商店街 アーケード整備事業設計委託費 1823万4千円

9月定例会
補正予算
4億4183万2千円
全会一致可決



歳出の主なもの

- 子ども・子育て支援事業計画基礎調査事業 326万9千円
 - ふるさと文化センター屋根葺替事業 1655万9千円
 - 歩行空間整備事業 1823万4千円
 - 農業施設災害復旧事業 6084万円
 - 林業施設災害復旧事業 250万円
 - 公共土木施設災害復旧事業 790万円
 - 財政調整基金積立金 2億3405万1千円
- などとなっております。

平成25年北秋田市議会9月定例会は、9月3日（火）から9月13日（金）までの11日間の会期で行われました。
今定例会では、条例案1件、予算案10件、陳情1件、決算認定24件など52件の議案が提案され、違法な臓器生体移植を禁じる陳情については、全会一致で不採択とし、そのほかの議案は全会一致で原案のとおり可決されました。決算認定については、継続審査として、決算特別委員会に審査が付託されました。

歩行空間整備事業（駅前アーケード整備）について、初日の大綱質疑で議員から「街づくりの一環として重要な事業と考えるが予算計上を急がなければならなかった理由と、どのような街づくりを目指しているのか具体的な説明を」との質疑があり、当局からは「具体的に鷹巣駅からもう一つの人の流れの拠点づくりを目的とした（仮称）生涯学習交流施設の間を基軸として、文化会館や北鷹高校、東中岱地区への安全性快適性を高めて、高齢者から子どもまで歩いて暮らせる空間を目指していきたい。今回、安全上を配慮し予算措置させていただいた」との

答弁がありました。さらに「構想を書面で議会に提示しないのか」との質疑に対しては「委員会の中で示していきたい」との答弁があり、所管の委員会内で配布された構想が描かれた資料は、最終日に全議員に配布されました。

合川小学校建設に伴う工事請負契約の締結については、15億45万円で佐藤庫・秋田特定建設工事共同企業体へ決定しました。

「歩行空間整備事業」と「高齢者就業機会確保事業費補助金（シルバー人材センター補助金）」については、委員会より付帯意見が出されました。

臨時会

合川中学校

屋外教育環境施設整備工事を可決

平成25年北秋田市議会第3回臨時会が8月12日に開かれ、合川中学校屋外教育環境施設整備工事に係わる「工事請負契約の締結について」が上程されました。

この工事は、合川中学校の野球場及び周辺施設を整備するもので、野球場1万1374㎡、多目的広場933㎡、周辺施設（管理用道路等）6252㎡、全体面積1万8559㎡を施工します。野球場は中学生用軟式野球場の規格で、外野部分には芝が張られ、野球場の周りには内野部分10m、外野部分8mの防球ネットが設置されます。

当局から提案説明の後、議員から工期についての質疑があり当局は「不測の事態に備え、長めの工期にしているが、降雪前に工事が完了する予定。使用の開始については、雪解け後に芝の定着状況を見てから、学校と協議して判断することになるが、芝の定着が不十分で使用できない場合には、旧合川高校のグラウンドを利用いただくことも視野に入れているなどしながら、学校と協議していきたい」などと答弁しました。提案された議案は起立採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。



工事請負契約の締結について審議が行われた第3回臨時会



造成工事が進む合川中野球場

定例会と臨時会の違いは？

定例会は、付議事件の有無にかかわらず、定期的に招集される議会の会議のことをいいます。

定例会は、あらかじめ付議する事件を告示する必要はなく、一般質問を含め、議会の権限に属するすべてを審議することができます。毎年4回以内において、条例に定める回数を招集しなければなりません。

これに対し、臨時会は、必要がある場合に随時招集され、しかもあらかじめ、付議事件を告示し、急いで実施するものを除き、あらかじめ告示された事件に限って審議することができます。また、緊急質問はともかくとして、一般質問は行いません。



市ホームページより 本会議等の会議録がご覧になれます

北秋田市議会では、各定例会の本会議や臨時会の会議録（平成22年4月以降分）を市ホームページ内で公開しています。

本会議の経過や各議員の発言など、家庭や職場などから簡単に閲覧することができます。

（HPアドレス→<http://www.city.kitaakita.akita.jp/gikai/>）



総務財政

庁舎の非常用階段の大規模改修

当委員会に付託された案件は、予算案6件、陳情1件でした。

平成25年度一般会計補正予算案では、財産管理費の工事請負費で、庁舎の非常用階段に当初予算では440万円を計上していたが、今回の大幅な増額（354万4千円）は何故か、という質疑に対し、当初の予定

は4本の柱を除いて横の鉄板の部分を取り換えればよいという想定での予算計上だったが、設計の結果、縦の柱部分のサビがひどくて、このままだと荷重上問題があることから4本の柱を含めて改修したいとの説明を受けました。

また、光ファイバーケーブルの雪害による移設工事は4本の柱を除いて横の鉄板の部分を取り換えればよいという想定での予算計上だったが、設計の結果、縦の柱部分のサビがひどくて、このままだと荷重上問題があることから4本の柱を含めて改修したいとの説明を受けました。

の内容について質疑があり、市の財産である光ケーブルは、NTT社や東北電力の電柱に添架または共架しており、電柱そのものが雪害で傾いたり、劣化で取り換えが必要となる時、一旦取り外して新しい電柱に移し替えなければならないので、その作業を市が業者に委託する工事であるとの説明を受けました。

財調残高

53億7268万5千円

そして、今回、財政調整

基金に2億3405万1千円を積み立てることにより、基金の残高が53億7268万5千円となるとの説明を受け、全会一致で原案のとおり可決すべきものとしました。

案のとおり可決、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情についても全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出することに決しました。

（委員長 黒澤芳彦）



老朽化が目立つ非常用階段

教育民生

新合川小学校各教室に冷房を設置

当委員会に付託された案件は、予算案2件、単行議案1件でした。

工事請負契約の締結について（合川小学校建設工事）は、非常階段と各教室の冷暖房について質疑があり、当局からは、建築基準法上、両脇に階段が設置されている建物については非常階段が必要ないため設

ていない、各教室はFF暖房、冷房も設置するとの答弁があり、全会一致で原案のとおり可決としました。

水難救助用ゴムボート購入

一般会計補正予算（第4号）所管分については、消防本部関係では、水難救助用ゴムボートの購入費につ

いて、更新するものか新規に購入するものかとの質疑があり、今回新規購入するもので森吉分署に配置するとの答弁がありました。

市民生活部関係では、街灯、防犯灯設置費補助金について全額補助かとの質疑があり、当局からは要綱に基づいて算出した額の補助金であり地元の負担も生ずるとの答弁がありました。

教育委員会関係では、各修繕費について、教育委員会所管の建物等について修繕計画を策定しているかと

の質疑があり、当局からは修繕計画は策定していないが、学校については統廃合により、社会教育・社会体育施設について経過年数を見て市の総合計画などに組み、財政と協議しながら進めていきたいとの答弁があり、全会一致で原案のとおり可決としました。

また、国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についても、全会一致で原案のとおり可決としました。

（委員長 松橋隆）



水難救助訓練の様子

健康福祉

子ども・子育て支援事業 計画策定ニーズ調査

当委員会に付託された案件は、予算案3件、陳情1件でした。

平成25年度一般会計補正予算所管分では、子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査について審査をしました。この調査は、地域にどのような子育てのニーズがあるか調べるものです。調査内容は、国から示さ

れておりますが、対象者の選定や調査項目の追加などは、ある程度市町村に任ざ

れています。北秋田市では、対象者を小学校6年生までの全員と母子手帳を交付している方にも広げたい。

調査は業者に委託し、その結果を今後の子育て計画に反映させていきたい。また、保育園、児童クラブの

あり方についての検討材料にしたいとの答弁がありました。

竜森コミセンの 利用計画は

竜森コミュニティセンターの屋根改修については、竜森地区の自治会長と話し合いが継続中ですが、利用計画がないのであれば早く結論を出していきたい。施設的にはまだ使えるので、公共金を使つて改修したい。いずれ介護関係の施設として、民間で使用できるので

あれば、そのような使い方も含めた形で検討したいとの答弁がありました。

違法な臓器生体移植を禁ずることを求める陳情書については、陳情内容の信憑性が確かでない。事実確認の方法がない。国の問題で地方議会では判断できない等の意見があり全会一致で不採択すべきと決しました。

審査の結果、予算案3件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 中嶋洋子）

産業建設

駅前商店街 アーケード新設へ

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案3件、単行議案4件でした。

北秋田市阿仁花菖蒲園条例を廃止する条例の制定に

ついては、借地の返地に関して個人1名、法人1団体だが田地としての現状復帰、法人については、無償での返地を検討中。3000株ある花菖蒲とあじさいは河

川公園、公共施設など阿仁地区を中心とした移植を考えているなどが質疑に対する答弁でした。

平成25年度一般会計補正予算のアーケード設計委託料については当局より中心市街地再生の観点から生涯学習交流センター（仮称）を基軸とし安全・快適性を高め、お年寄りから子ども

まで歩いて暮らせる歩行空間を目指すなどの説明がありました。駅前を含めた総合的な計画をとの質疑に対し、指摘された点を踏まえて対応したいなどの答弁がありました。

シルバー人材センターに 補助金増額

追加補正のシルバー人材センターについては、職員の不祥事、独自事業の失敗などにあたり、職員の教育や意識改革、理事会機能や監査機能の充実を図る必要

があるのでは、また法人に移行できない時はとの質疑に対し、反省すべきは反省し謙虚な気持ちで再生計画が実行できるよう市として応援したい。移行できない時は解散となるなどの答弁がありました。また、7・8月豪雨災害に対する復旧予算もありました。

当委員会に付託された案件は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しましたが、アーケード、シルバーに関する予算には付帯意見を付しました。

（委員長 松尾秀一）



老朽化したアーケード



屋根改修される竜森コミセン

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

▶各議員の質問に答弁する津谷市長



一般質問は、9月5日・6日に行われ、11名の議員が市長に対して、合川南小活用、七日市工業団地、観光振興、人口減少対策、市道整備、医師確保など様々な問題についてたどしました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

中小企業振興計画の策定を



大森 光信 議員（きらり）

は、女性救急救命士の方により適切な救急活動が期待できると思うが、採用できないか。

【答】女性消防吏員は救急業務だけではなく消防業務全般に従事できる消防吏員を視野に入れて検討していきたい。

【問】医療機関受け入れ拒否の現状について市としてどのように考え、また厚生連とどのように協議していくか。

【答】患者の容態を最優先として転送している。市としては、救急の受



市民を守る高規格救急車

け入れ率を上げるためには、何よりも医師不足の解消が必要なので、厚生連に申し入れをしていく。

議員：女性救急救命士の採用は

市長：あらゆる角度から検討する

【問】中小企業は、地域経済を牽引する垂心力であるということをしつかりと認識し、中小企業の振興や支援に關して、中小企業振興計画を策定し、市が主体的に中小企業活性化に取り組むべきと考えますが、市長の見解は。

【答】現段階で策定予定

はないが、中小企業等への支援は地域経済の継続的な発展のために必要であるとして認識している。平成27年度からの10か年の新総合計画策定と合わせて、中小企業振興計画策定についても検討していきたい。

防災対策はいかに



三浦 一英 議員 (みどりの風)

せよ。ゴミ対策はどうなっているのか。市民憲章の浸透による全国ランキング527位(788市中)より上位を目指せ。

問 自主防災組織の結成は急務であり、ハザードマップの見直しも必要かと思われるが市長の方針はいかに。
答 26年度中には地域防災計画の見直しを図り、防災組織には自治会に出向いて結成を促していきます。

問 消防栓ボックスへの補助金対応が必要かと思われるが今後の対応について
答 消防力の向上を目指し、今後の補修はしない。
問 住みよい街づくりについて市の花であるアジサイを北秋田1戸1株植栽運動(KA1運動)の展開を推進さ

問 空港周辺の美化と歓迎看板設置について
答 美化についてはアジサイの植栽と歓迎の看板も検討します。



役割を終えたホース格納庫

議員：合川南小への企業誘致 市長：利活用を再検討

問 合川小統合前の事前準備と付随した学童保育施設の代替機能について
答 合川南小への企業誘致について
問 新小学校開校前の事前準備として通学路など関係者や子どもたちの意見を聞いて整備していきたい。

学童保育については老朽化をしていることから将来的には解体が妥当と考えているが避難場所の確保と併せて検討していきたい。(教育長)
南小学校については、広く公募も考えながら、今後の有効活用を再検討中。(市長)

七日市工業団地の活用を



堀部 寿 議員 (みどりの風)

農産物などを販売する市主導の産直センターの建設は必要ないか。
答 北秋田市の農業活性化と合わせて地域の活性化、北秋田市のPRにも役立つうえで産直センターの必要性は全く同感であります。ハード整備や運営主体、運営収支の採算等要望団体と協議をしておりますので、市としてできる限り支援する。

議員：産直センター建てよ 市長：できる限り支援する

問 空港開港にあわせて造成した七日市工業団地がいまだ活用されていないが、今後の活用計画は。
答 空港から近いという立地条件や各種支援制度を掲載したパンフレットを作成し個別訪問や東京、大阪、名古屋での企業立地説明会等で積極的にPRをしておりますが、なかなか新規誘致につながっていないのが実情です。そのような状況を踏まえ、メガソーラー用地として活用できないかも含め検討中です。

問 農業活性化と、6次産業推進のため、顔の見える安全・安心な
問 8月9日の大雨による当市の被害状況は。
答 人的被害はなく、床上・床下浸水が各1棟、糠沢川と米代川流域で農地141・4畝が冠水、農業用施設や公共土木施設が被害を受けた。
被害総額は2億4581万円。

問 国の災害復旧事業の対象にならない農地・農業用施設復旧のため市独自の救援策は。
答 隣接被害箇所の一水化等により、被害箇所が今後の営農に支障をきたさないように、国の災害復旧事業の対象となるよう努めると

ともに、該当しないものは県が支援を検討しており、県とも協議しながら市としての支援を検討したい。職員に対してもスピーディーに対応できるように努力したい。



8月9日の被害状況

都市計画道路の歩道整備は



武田 浩人 議員（公明党）

決定延長5千120mに対して、これまで4千266mが改良済の部分となり整備率は約83%となっています。市としてもこの道路の重要性は強く認識していますが、整備には市道と県道の一体的な整備が望ましいと考えますので、時期や手法等について今後も県と調整・連携を図っていき



歩行者の安全を最優先に

たいと考えています。

問 都市計画道路・太田川口線の歩道未整備区間について、現在までの状況を伺います。

答 まず、この道路のこれまでの経緯を説明します。この路線は昭和56年に都市計画決定した路線ですが、105号バイパスと鷹巣の中心市街地を結ぶ「あけぼの町区間」およそ700mを平成2年度に幅員16m道路として完成供用したのを皮切りに、その後川口地内から西鷹巣大橋を通過し、平成21年度に市が施工した元町区と、県に施工していた中岱工区が完成したことにより、計画

議員：現状での諸課題について

市長：更に県と協議を重ね要望する

問 歩道整備までの当面の諸課題である、除排雪や騒音・振動の対策について伺います。

答 除排雪についてはこれまで格別の配慮のもと行っていたと考えております。毎年改善もされていきますが、管理者である県と今後引き続き協議を重ね、歩行者の安全を最優先に考えた要望を行って参ります。

騒音については、平

成24年度に調査を行っており、結果は基準値内でしたが、交通量の多い朝夕には瞬間的に高い値を示すこともありました。また、振動については基準がありません。大型車両の通行で振動するという点ですが、路面の平坦性を保つことによって、騒音や振動の発生を減らすことが当面の対応策と考えます。

ユニークに市のPRを



板垣 淳 議員（共産党議員団）

使うべき。このほか、地方鉄道の車両に地域をアピールするデザインを描いた列車ラッピング化、ご当地ナンバード入が全国各地で行われている。当市でもこれらも参考に、ユニークでイン

パクトのある取り組みをしたかどうか。**答** ツイッター、DVD、雑誌掲載などで知名度アップに取り組んでいるが、今後はいま紹介された事例も参考にしながら、取り組んで参りたい。

議員：旧3高校の活用は

市長：メガソーラー用地に

問 さらに地となった旧米内沢高校も、建物が残っている旧鷹巣高校も、雑草が生い茂ったり、フェンスなどが倒壊したりして、見苦しい状態となっている。県の施設ではあるが、市としても知らんぷりできないのでは。

答 景観上も問題があるので、県に対応をお願いする。

問 市は、民家の空き家対策を検討しているが、その市が所有している旧合川高校を空き家にしたままというの

では示しがつからない。活用方針は。**答** 校舎は活用希望者を公募し、グラウンドはメガソーラー用地として活用を検討したい。



利活用が課題となっている旧合川高校

人口減少対策は



長崎 克彦 議員（清和会）

ため、年内に短期的な方向性や目標を定め順次実行する考えである。

問 一次産業として基幹産業に位置付けされている我が市の農業を振興発展させるため、新規就農者へ市独自支援すべきと考えますが

どうか。

答 新規就農者の確保は担い手農家の確保と併せて、農業発展のため重要な事であると認識している。国、県の事業との整合性を図りながら支援を検討する。

議員：中公解体し駐車場に

市長：補強し庁舎として活用

問 平成17年の合併時の人口は4万人を超えていました。現在は3万5000人をわっています。2040年の人口は1万8000人に減少すると予想されています。人口減少に対し様々な事業を実施していますが効果は表れていません。何んと

問 老朽化し駐車スペースも少ない中央公民館の機能を全て、新築する交流施設に移転すべきと考えるが。

答 市民がいつでも気軽に利用できる施設といたった機能を十分に發揮するため、生涯学習課を専属で移す計画。

ールサービス、消防団や自治会長への伝達依頼などを基本に市全体に周知していく。但し市民全域に伝達されたのかどうかという課題もある。

答 庁内でも喫緊の問題であると考え、関係課長で検討委員会を設置して対応している。住みよい街づくりの

問 危機管理対策として、特別警報に対しどう考えているのか。

答 防災無線、広報車の巡回、携帯電話のメ



老朽化した中央公民館

市道の整備なされず



福岡 由巳 議員（共産党議員団）

中学校の学校給食自校方式は教育的意義からして継続すべきでないか。何故センター方式にしようとするのか。

答 合川小建設準備委員会においてセンター方式にするとした。自校方式の方が教育的意義が大きいという指摘には賛同しかねません。（議事録より）

議員：統合合川小の防災計画は

市長：設計で対応を図っている

問 合併後を振り返り、基本構想の8項目をどのように中間総括しているか。過疎化脱却の具体策は何か。

答 今般、庁内の関係課長による検討委員会を設置し、検証しながら方向性を示したい。

問 市道桃栄開拓線は、これまで上杉、桃栄両集落で整備してきたと話している。市は対処してきたのか。

答 早速、担当部長に確認させたところ草刈り等の管理は必要と判断した。早急に対応する。なお今後地元自治会と協議を行いたい。

問 旧合川町時代から培ってきた合川地区小



草丈高く歩けない市道

問 3月定例会教育民生常任委員会の審査では答弁に誤りがあり、かつまた「合川小の給食提供をする調理場を造る」と答弁している。この点はどうなのか。

答 常任委員会で明確になったことは、給食センターを造り、平成27年4月1日スタートすること間違いはない。

問 総合計画・実施計画によると、給食センターの概算事業費は平成24年度から26年度版

問 最近の「ゲリラ豪雨」は想像を絶する。統合合川小の水害に対する防災計画はどうなっているのか。

答 平成19年水害時の水位より約30センチ高く設計して水害時の対応を図っている。

答 平成19年水害時の水位より約30センチ高く設計して水害時の対応を図っている。

路線バスの方向性



久留嶋 範子 議員(共産党議員団)

るが、生協と地域見守り隊の協定を結ぶことはできないか。

答 宅配業者や郵便局からも見守りについての協力の話をいただき協議を進めているものもある。民間業者にも参加いただき、高齢者などの支援対策を協働で推進したい。

問 投票区の再編により投票難民が出たが、今後どのように対処していくのか。

答 行政で送迎バスを運行するといった対応は、選挙の公平性や投票の誘導の恐れといった点で難しい部分がある。

議員：平和どう知らせる

市長：継続的に指導している

問 子どもたちに戦争の悲惨さ、平和の大切さをどう知らせていくのか。

答 市内の小中学校で日本国憲法の平和主義の理解とともに、生命の尊さ、戦争の悲惨さ

る。期日前投票制度がだいぶ浸透して投票率に占める割合が増えてきている。買い物や通院で出かける際に期日前投票を利用することをお願いし、制度の利用促進を図りたい。



利用者減の路線バス

などを子どもの発達段階に即して継続的に指導している。学校によっては、戦争体験をした人に学校の授業に来ていただき体験談を語ってもらう。

市長の教育委員会改革は



吉田 仁吉郎 議員(清和会)

不満とか不信の原因は他地域の事例を見ますと、問題は教育委員会制度自体にあるというより、むしろ組織内での情報の伝達や危機管理面での対応が招いた結果ではないかと推察いたします。なお教育

委員会改革に向けましては現在国レベルでも議論が行われており、全国市長会等においては自治体の実勢に委ね選択制を導入するよう提言しているところでもあります。

議員：市道東根田線の早期改良を

市長：他事業の進捗を見ながら

問 旧合川町が平成8年度より大野岱地区、空港と鷹巣間の利便性を図るのを目的に町道幹線道路として発注がなされたもので、平成15年度に第1期工事東根田から新田目まで14億円余りをかけ完成がなされた。その後市が18年度より21年度に3億円余りをかけ下杉側が完成された。あと橋梁のみが残っているが今後の工事計画はどうか。

答 本事業は旧合川町において20億円、合併後3億円をかけて行われ今後の事業費約16億6千万円が見込まれる。現在においては他事業の進捗や橋梁補修及びトンネル補修などが優先されたが、今後の社会情勢の動向を見極めながら検討してまいります。



早期開通が待たれる東根田、下杉線

ぶな森線の開通促進を



山田 博康 議員（清和会）

問 行政課題解決に若い世代の意見を反映させる機会を多く創出させるべきと考えるが。

答 若者に市政へ関心をもってもらうことは、これからのまちづくりを進める上で重要であると考えています。来年度からはスマートフ

とと、安ノ滝、幸兵衛滝へ、これから紅葉の季節を迎えるまでに、通行止めで行かれないなどということが無いよう積極的な取り組みを強く要望します。

答 ぶな森線は市の観光振興と地域の活性化としても、大変重要な



齋藤 美津子 議員（無会派）

市民病院の現状について

す。また腹腔鏡手術などの最高レベルの技術を市民病院の医師スタッフに学んでもらい高水準の医療を市民が受けられる環境を整え病院をイメージアップしたい。

議員：医師不足について

市長：信頼される病院に

問 開業以来予定の半分しか満たしていない常勤医の確保に対する施策と、医師不在時の対応のシステム化の定着及びその運用のマニュアル化と、検証について。

答 過疎地域における医師不在は全国的にも厳しい状況が続いており北秋田市も例外ではありません。今後の医師確保の施策は、これまでと同様秋田大学医学部及び秋田県への医師派遣要請や個別の交渉、市のホームページでの募集や医師奨励金制度、医師がキャリアアップできる体制の構築に取り組んでおります。

問 当地域にとつて深刻な脳血管疾病など緊急を要する患者に地域救命救急センターは活用されているかどうか。また空き病床が有効的に活用されているかどうか。病床の稼働率は69・3%です。医療依存度の高い患者への活用は。

答 空き病床の現状や診療日数の少ない科、地域救命救急センターの現状については、市民病院の機能が十分に発揮されているとは言いがたい状況にありその原因は医師不足にあると考えております。この医師不足は平成16年の新臨床研修医制度の創設がきっかけで医師の偏在が助長された

ものでありますが多額の費用を投じて開院した市民病院でありますので、市民病院の機能を少しでも充実させて市民から信頼される病院にしたいという思いで厚生連とともに医師確保に取り組んで参りました。その結果開院当初よりは常勤医も増えてきております。

問 行政課題解決に若い世代の意見を反映させる機会を多く創出させるべきと考えるが。

答 若者に市政へ関心をもってもらうことは、これからのまちづくりを進める上で重要であると考えています。来年度からはスマートフ

問 全職員を対象とした地域担当制の導入についてですが、合併して行政区域が広大化したことにより、職員と市民との距離が疎遠になりつつあることは改善する必要があります。職員の縦割り意識を打破し、主査以上の職員には市の区域全体が大筋で理解でき職務に精励



紅葉の安ノ滝

議員：若い世代の声を聞け

市長：若者の意見を反映する

できるような取り組みをしてもらいたい。

答 職員に対して、地域行事や事業へ積極的に参加するように要請しております。全職員が、市民との接点を密にし、業務を行うよう指導します。議員提案の地域担当制については研究させていただきます。



信頼される市民病院に

所管事務
調査報告

南九州市・西都市・田川市を調査

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会は、議員定数を20名に削減したことに伴い、常任委員会構成の見直し及び一般質問の状況について類似市議会の調査を実施いたしました。

決算認定は

9月定例会で審査

鹿児島県南九州市では、常任委員会は総務8人、文教厚生7人、産業建設7人の構成でありました。一般質問の締切は議運開催時の3日前で、内容は簡明に記載し、順序はくじ引きとしております。1回目は要旨を全て質問し、時間は答弁を含めて60分。3月定例会では当初予算審査、9月定例会では



福岡県田川市の調査の様子

決算認定審査をしております。との説明でありました。

宮崎県西都市では、常任委員会は総務6人、文教厚生6人、産業建設6人の構成でありました。一般質問は、3日間を基本とし、順序はくじ引きを採用しております。また、一問一答方式を採用しており、質問時間は40分で再質問の制限はありません。当初予算は各常任委員会に付託し、決算委員会は9月定例会中に審査しております。との説明でありました。

当局の反問権を
認めている

福岡県田川市では、常任委員会は総務文教7人、厚生6人、建設経済6人の構成でありました。一般質問は、一問一答方式と一括質問の選択制を採用しており、時間は答弁を含めて60分、質問回数と人数の制限はありません。また、反問権を認めています。3月定例会は当初予算、9月定例会は決算認定の審査行っております。との説明でありました。

所管事務
調査報告

施設建設計画について調査

教育民生常任委員会所管事務調査

教育民生常任委員会は、8月19日から21日まで、広島県東広島市、山口県周南市を訪問し、所管事務調査を実施しました。

老朽化した

既存施設を複合施設に

広島県東広島市では、平成27年度に開館予定の（仮称）東広島市民ホール建設計画について調査しました。

同計画は、竣工後40年が経過する生涯学習センターの老朽化への対応と、芸術文化の拠点となる大ホールを新設し1施設に集約するもので、公募型プロポーザル方式により設計者が選定されました。



山口県周南市の調査の様子

山口県周南市では、（仮称）学び・交流プラザ整備事業について調査しました。

この事業は、既存の公民館、図書館、体育館、文化ホールなどが隣接しているものの、それぞれが独立した建物で一体的な利用が難しく、また竣工後35年以上経過し老朽化も進んでいることから、全面建替えによる複合施設を整備するということです。

施設を一つに集約して
財政負担軽減

両市とも施設の規模、構成は異なるものの生涯学習活動とまちの賑わいづくりの拠点として考え、また、複数の施設を維持することではなく、1施設に集約することで今後の財政負担を考慮し維持管理費の低減を図ろうとすることは、当市においても参考としたい事例でありました。

市議会ってどんなところ？

市議会って、なにをしているの？ 市議会議員が集まってなにを決めているの？

そんな疑問に対して、市議会の役割や権限について説明します。

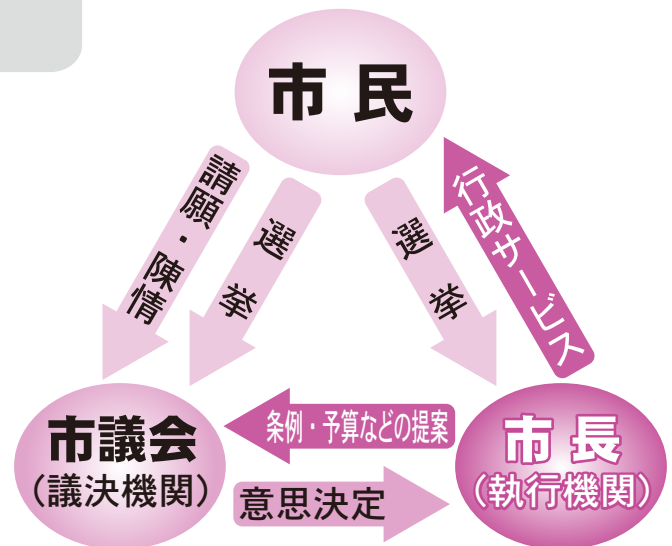


市議会の役割

市議会とは、市民の代表者として選挙によって選ばれた市議会議員が、市民生活に関係する様々な問題を話し合い、市政の方針を決定する機関で、「議決機関」と呼ばれています。議会の議決のもとに執行機関である市長が実際の仕事を進めていきます。両者は独立した機関として対等の立場にあり、互いに協力して市政の発展のために活動しています。

市議会の権限

市議会は、市民の意見を代表する機関として重要な権限を持っています。主なものには、次のような権限があります。



●議決権

市議会の最も本質的、基本的なものであり、議会の存在目的からも第一にあげられる権限です。市の事務に関して説明を受けて、条例の制定や改廃をしたり、予算の承認をしたり、また決算の認定をしたり、特定の請負契約の締結及び財産の取得や処分の承認などを行います。

●選挙権

議会が特定の地位に就くべき人を選定する行為です。議長・副議長や選挙管理委員会委員などを選挙する権限です。

●検査権

議会が市の事務に関する書類などを検閲したり、執行機関からの報告を請求して、市の事務の管理、議決の執行及び出納を検査する権限です。

●監査の請求権

議会が監査委員に対して、市の事務に関する監査を求め、その結果の報告を請求する権限です。

●意見書提出権

市の公益に関することについて、議会の意思決定をして、国などの関係機関や国会に意見書を提出する権限です。

●調査権

議会のもつ重要な職責を十分果たすために、市の事務全般にわたって、正しく行われているかを調査する権限です。

●自律権

議会の独立性と自主性を確保するために、議会内部の事柄について、自ら決めることができます。

●同意権

副市長・監査委員や教育委員会委員などの選任について、同意を与える権限です。

●承認権

執行機関が処理した事項について、事後に承認を与える権限です。

●請願・陳情を受理し処理する権限

市民の意向を市政や国政に反映させるため、市民の要望を請願書・陳情書として受理し、これを処理する権限です。

●報告、書類の受理権

議会は、市の事務処理を監視する権限を有するので、市が処理する事務について、一定の報告をすることを義務づけております。

人事案件

本定例会に人事案同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

◎人権擁護委員候補者の推薦
三浦 欽一（三木田）

皆さんからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書	井田敏美	不採択	
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	採択	提出

北秋田市議会基本条例・ 北秋田市議会議員政治倫理条例策定にあたり 市民の皆さんからご意見を募集します

市議会では、議会および議員の活動原則等を定めた「基本条例」、議員の政治倫理基準を明確にした「議員政治倫理条例」の内容を議会改革特別委員会において協議いたしました。

市民の皆さんからもご意見をいただきたいと考えております。

◆条例の閲覧場所・時間

- ①議会事務局（本庁舎3階）
- ②各総合窓口センター
- いずれも、午前8時30分～午後5時15分
（土・日・祝日除く）

③市議会ホームページ

- ◆募集締切 平成25年11月15日（金）
- ◆提出先 北秋田市議会事務局
- ◆問合せ 議会事務局 TEL 62-6624



小学生がまちづくりを提案した子ども議会

決算特別委員会設置

今定例会には、平成24年度各会計
決算の認定24件が提案されました。
各常任委員会から選出された委員
により決算特別委員会で審査し、12
月定例会で結審します。

委員は次の通りです。

▽委員長 佐藤 重光
▽副委員長 山田 博康
▽委員 米澤 一
大森 光信
堀部 壽
黒澤 芳彦
板垣 淳
齋藤 美津子

おとがき

暑かった夏も終わりを告げ、収穫の秋もピークを過ぎたように感じます。8月9日、秋田県北部を襲った豪雨により、本市では人的被害はなかったものの、施設や農作物など多数の被害が報告されました。被害に遭われた方に対し、心よりお見舞い申し上げます。

今議会では、鷹巣駅前アーケード整備の設計予算で多くの議論が活発に交わされました。様々な議論の中から生まれる「まちづくり」が、皆様の住みよい環境づくりに繋がるように、行政と議会が一丸となつて取り組んでまいりたいと思います。議会改革特別委員会では、20回を超える委員会の開催を経て「北秋田市議会基本条例（案）」並びに「北秋田市議会議員政治倫理条例（案）」について協議してまいりました。

これらの条例は議会や議員のあり方を成文化したものであります。市民の皆様と今まで以上に真摯に向き合うことで「より開かれた市議会」を目指し、負託や責任を全うしたいと考えております。今後の市議会の動きに是非ご注目ください。
（大森光信）

次の定例会は
12月です
市民の皆さまの傍聴を
お待ちしております

各常任委員会の会場
総務財政（合川庁舎）
教育民生（本庁舎）
健康福祉（阿仁庁舎）
産業建設（森吉庁舎）

た報公聴特別委員会

委員長 佐藤 光子
副委員長 武田 浩人
委員 長崎 克彦
関口 正則
大森 光信
渡辺 靖光
事務局担当